令 和 6 年 度

夜間主コース

演 習 指 針

長 崎 大 学 経 済 学 部

演　習　に　つ　い　て

この演習指針は，令和６年４月から開講される「演習Ⅰ」の題目及びその内容・方針等を記載したものです。

「演習Ⅰ」は，１年間を通して履修しなければならないので，十分検討したうえで一つの演習題目を選択し，申込み手続きを行ってください。

「演習Ⅰ」・「演習Ⅱ」については，以下のとおりです。

授業科目名	演習Ⅰ		
学期・単位数・必修選択	通年・４単位・必修	標準履修年次	３年次
授業の目的・到達目標	「実践的エコノミスト」の養成を目指し、講義科目の内容の系統的理解を前提とした、特定の学問領域に関する知識の深化を図る。専門領域における問題発見とその解決のプロセスを通じ、思考能力を涵養する。		
授業方法	各ゼミは１３名から１５名の少人数で構成される。1年間を通して一人の教員のもとに履修する必修科目である。所属ゼミ決定のために、教員と履修希望者との面接等を実施し履修希望者が多い場合は選抜が行われることがある。（面接等については、本指針の各教員による説明を参照。）		
指導内容等	「実践的エコノミスト」の養成に照らして各教員が設定する課題・テーマや指導方針に基づき、学生の主体的な学習を中心とした多彩なゼミ運営が行われる。各ゼミの課題・テーマ、内容と方法、教科書・教材・参考書等については、本指針の各教員による説明を参照。詳細は指導教員が指示する。		
成績評価の方法・基準等	ゼミの課題・テーマにたいする取り組み方、主体的・積極的なゼミへの参加、報告やプレゼンテーションなどを基本として、各指導教員が成績評価を行う。		
履修要件	演習Ⅰを履修するためには、次に掲げる単位数を修得していなければならない。（入学年度により異なるので十分留意すること。） 令和３年度以降入学者 （１）教養教育科目の修得単位数が２０単位以上（外国語科目４単位以上を含む） （２）専門教育科目の修得単位数が２０単位以上 平成２４年度～令和２年度入学者 （１）教養教育科目の修得単位数が２６単位以上（外国語科目４単位以上を含む） （２）専門教育科目の修得単位数が１４単位以上		
備考	ゼミによっては上記以外の履修条件を指定している場合があるので、注意が必要である。		

授業科目名	演習Ⅱ		
学期・単位数・必修選択	通年・４単位・選択	標準履修年次	４年次
授業の目的・到達目標	卒業研究ゼミであり、大学において習得した知識の体系化と応用、また演習Ⅰにおいて培ったテーマ選択（問題解決）能力、調査研究能力等の一層の発展を目指し、各専門領域の研究を進める。大学教育の集大成として位置づけられ、その成果を卒業論文として完成させる。		
授業方法	各ゼミは１３名から１５名の少人数で構成される。演習Ⅱは選択科目であり、原則として演習Ⅰと同一教員の指導のもとに履修する。卒業論文は原則として個人研究により、個々の学生に合わせた個別指導が行われる。		
指導内容等	論文作成プロセスを通じて、幅広い教養と基礎的知識の定着を図りつつ専門的知識を一層掘り下げ、問題解決方法を生み出す思考能力を育成する。各学生の選択テーマや問題意識に則して、文献・資料の探索やデータ整理・分析、論文の形式、論文構成や論旨展開など、さまざまな観点から指導教員が助言を与える。		
成績評価の方法・基準等	第４年次の指定された期日までに卒業論文を提出しなければならない。成績評価は提出された卒業論文等により各指導教員が行う。		
履修要件	演習Ⅱを履修するためには、演習Ⅰの単位を修得していなければならない。		
備考			

○募集及び履修手続き

⑴募集人数・採用数

各ゼミの募集人数は１３～１５名とし、採用数は各教員が面接実施後に判断する。

⑵募集日程

募集は下記の日程により行う。

区分		期日	申込手続等
第１次募集	提出締切	１２月７日（木）１９時４０分	対象となる全ての学生は、第１次募集申込書を学務係へ提出する。
	面 接 等	１２月１２日(火)～１２月１５日(金)	教員別の日程は演習指針及びピロティー掲示板にて指示する。
	結果発表	１２月１９日（火）１７時５０分	ピロティー掲示板に発表する。それとともに、第２次募集を行う教員名を掲示で知らせる。
第２次募集	提出締切	１２月２２日（金）１９時４０分	第１次募集で決定しなかった学生は、第２次募集申込書を学務係へ提出する。
	面 接 等	１月９日（火）～１月１１日（木）	教員別の日程は演習指針及びピロティー掲示板にて指示する。
	結果発表	１月１７日（水）１７時５０分	ピロティー掲示板に発表する。
第２次募集結果発表後の手　続　き		第２次募集までに決定しなかったものについては、ピロティー掲示板で各ゼミの採用決定状況を確認のうえ、引き続き決定するまで手続きを行う。	

※　面接等実施日程、個別相談日程は次ページ以降に掲載
※　シラバスを、LACS 及び経済学部ホームページ掲載の「演習指針」から必ず確認すること。
　経済学部ホームページ　→在学生の皆様へ　→受講の手引き　→ゼミナールガイド　→
　令和６年度夜間主コース演習指針
最終的な履修可能者（履修要件を満たした者）は，令和６年４月初めに掲示にて発表する。

○指導教員の変更について

⑴履修登録取り消しや辞退の場合は，あらためて履修手続きを行い，新たに１年間履修しなければならない。
⑵やむを得ない事情により，同一指導教員について履修することができない場合は，指導教員の変更を認めることがある。（指導教員の転出，休職，長期出張等）

○演習室使用上の注意等

⑴演習室は，４月初めに割り当てられた演習室で行われる。
⑵演習室を使用する場合は，事前に学務係の使用簿に記入し，鍵を預かり，使用後，施錠し学務係へ返却する。なお，21 時 15 分以降は時間外用鍵返却口に返却すること。
⑶演習室の使用時間は，原則として 18 時～21 時 10 分までとし，時間外等に使用する時は指導教員を経て学務係に申し出ること。
⑷演習終了後は，戸締まり等を確実に行うこと。
⑸演習に関わる報告書等の作成用として，印刷機を本館２階・多目的室に設置する。
　使用方法については，学務係窓口または掲示等で確認すること。

○その他申込みについての注意事項

⑴ 演習Ｉ募集に関する連絡事項（面接日・相談日時の変更等）・ゼミ決定通知は LACS 掲載及び本館１２講義室前ピロティーの掲示板に掲示するので、随時確認すること。
⑵ 申込書の配付
　１１月初旬頃から学務係前情報コーナーに設置するので、各自第何次募集かを記載して使用すること。
　また、LACS 掲載及び経済学部ホームページにも掲載するので、各自印刷して提出することもできる。
⑶ 教員宛に事前提出物がある場合も、演習Ｉ申込書は必ず学務係前のレポートボックスに提出すること。
⑷ 申込書の「題目」欄は、次ページの一覧および各指針の一番上に記載されている「演習題目」を記入すること（「課題テーマ」ではないので注意すること）。
⑸ 教員宛にメールを送信する場合は、『学生番号・氏名および「演習Ｉ募集について」』等件名を入れること。携帯電話でメールを受信する場合は、ＰＣからのメールを受信できるようにしておくこと。教員からの連絡が滞る場合には、電話や学務係を通じて必ず確認すること。
⑹ 本演習の面接を理由とした講義の「欠席届」の提出はできない。万が一、講義の時間と重複する場合は教員に時間等調整の相談をすること。
⑺ 提出物や面接の日時については、LACS、演習指針及び本館１２講義室前ピロティーの掲示板を確認し、その指示に従うこと。指示に従わない場合は受け入れないことがある。
⑻ ゼミ決定後は、原則辞退することはできないので注意すること。（選考時に未決定となった他の学生が不利益を被ることを防ぐため。）

令和５年１１月９日現在

演習Ⅰ　面接等実施日程

※日程は変更になることがあるので、随時掲示を確認すること。

教員名	演習題目	区分	面接実施日	時間帯	場所	注意事項
宇都宮　譲	Rを用いた作図	第1次募集	なし			本職メールアドレス宛に、以下資料を添付・提出されたい。 メール本文に、貴君氏名および学生番号を明記すること。 定員を超過した場合、GPAが高い順に採用する。 1.　所定科目を履修・単位修得したことを証明する文書　1通 2.　本学が発行した成績証明書　1通
		第2次募集	なし			
岡田　裕正	財務会計の基礎	第1次募集	12月14日（木）	19:30 ～　21:00	講堂（財務会計論終了後引き続き行う）	・ゼミ希望者は、面接前に岡田までメール（メールの件名は「ゼミ面接希望、学生番号、氏名」と記載）送ること。面接で利用するアンケート用紙をメール添付で送るので、面接前日までにメール添付で返送すること。 ・上記に加え、ゼミ志望動機を400字以上にまとめて、面接時に持参すること（上記アンケートと合わせて送付も可）。 ・第1次募集では、仕事等の理由で面接に来れない場合は、メールで連絡すること。翌日の講義終了後も面接に充てる予定である。遅刻の場合は、その旨連絡の上当日来ること。 ・第2次募集を実施する場合に、上記と同様の理由で来れない場合は、その旨連絡すること。別途面接日を連絡する。
		第2次募集	1月11日（木）	19:30 ～　21:00	講堂（財務会計論終了後引き続き行う）	
工藤　健	経済政策および マクロ経済分析	第1次募集	12月12日(火)～ 15日(金)		右記の「応募シート」の書類審査とメールのやり取りにより選考する。	募集申込書に加えて，募集申込書の提出締切までに，下記のQRコードから「応募シート」フォームにアクセス・記入して回答を送信すること。
		第2次募集	1月9日(火)～ 11日(木)		右記の「応募シート」の書類審査とメールのやり取りにより選考する。	
式見　拓仙	統計学	第1次募集	12月13日（水）	12:10 ～　12:40	東南アジア研究所2階２１４	１．シラバスで指定しているテキストを必ず手に取って自分の学びたいことと合致しているかどうかを確認してください. ２．本ゼミに応募する学生は面接日時に東南アジア研究所2階２１４までお越しください. ３．面接の前日までに自己紹介と志望動機をＡ４一枚程度（横書）にまとめたものを以下の宛先に送ってください（締切厳守）. shikimi@nagasaki-u.ac.jp
		第2次募集	1月11日（木）	12:10 ～　12:40	東南アジア研究所2階２１４	
鈴木　斉	コンピュータ セキュリティ	第1次募集	12月12日～ 12月15日迄	相談に応じます。	オンライン面接	面接時にA4用紙1頁にまとめた自己紹介を持参して下さい。面接日時の希望については sigh@nagasaki-u.ac.jp に連絡願います。
		第2次募集	1月9日～ 1月11日迄	相談に応じます。	本館6階631鈴木研究室 もしくはオンライン面接	
山口　純哉	地域経済論	第1次募集	12月15日(金)	19:30 ～　21:30	本館3階オープンラボ2	面接時にＡ４・１枚程度に地域経済・社会にかかる問題意識や志望理由をまとめて持参、提出すること。
		第2次募集	1月10日(火)	19:30 ～　21:30	本館3階オープンラボ2	

令和５年１１月９日現在

演習Ⅰ　個別相談日程

※日程は変更になることがあるので、随時掲示を確認すること。

教員名	演習題目	実施日	時間帯	場所	備考
岡田　裕正	財務会計の基礎	12月1日（金）	19:30　～　21:00	講堂（財務会計論講義終了後）	事前にメールでアポを取ること。なお、昼間コース3年生のゼミを木曜の5時間目に行っているので、１１月中（11月16日除く）であれば、見学に来ることも可能。
			～		
工藤　健	経済政策とマクロ経済分析	12月1日(金)	21:10　～　21:40	本館2階21講義室	12月1日(金)は当日対応可能であるが、12月4日(月)については事前にメールで予約と時間調整をすること。
		12月4日(月)	17:00　～　21:30	後日告知する	
式見　拓仙	統計学	12月4日（月）	10:00　～　16:00	東南アジア研究所2階２１４	個別相談の日時を決めるため，事前に連絡をください．
		12月5日（火）	10:00　～　16:00	東南アジア研究所2階２１４	
鈴木　斉	コンピュータセキュリティ	応相談	～	本館6階631鈴木研究室もしくはオンライン	事前にメールでアポを取ること
山口　純哉	地域経済論	12月6日(水)	19:30　～　21:30	本館3階オープンラボ2	事前にメールでアポを取ること。

教員研究室及び演習室配置図

令和5年8月1日現在

〇本　館

6階

複写室	男子トイレ	三輪	鈴木（崇）	南森		林（徹）		階段	EV	木村	鈴木（斉）	
階段	津留崎	加藤（隆）	今仁	桑波田	西村	藤田	丸山（真）	辺見		林川	神薗	式見（雅）

5階

工藤	女子トイレ			髙井	オープンラボ	オープンラボ		階段	EV	丸山（幸）	林（麗）	小野
階段	島田			高橋	職員談話室	井田		徐	原	吉沢	成田	大角

4階

43 演習室	男子トイレ	44演習室	45演習室	46 演習室	情報化 推進室		階段	EV	MS1
階段	41演習室		42演習室	院生（D）研究室			MS3		MS2

3階

メンテナンス ルーム	女子トイレ	オープンラボ		34 演習室	リフレッシュルーム		階段	EV	オープンラボ
階段	オープンラボ		オープンラボ	31 演習室		32 演習室	33演習室		オープンラボ

〇東南アジア研究所

3階

共同研究室4					階段	女子トイレ	男子トイレ			
	森保		井畑			EV				岡田

2階

山口			共同研究室3		階段	女子トイレ	男子トイレ			
式見（拓）		福澤		深浦		EV	宇都宮	白水	松木	宍倉

1階

書　庫	電気室	階段	女子トイレ	男子トイレ	資料室 1	資料室 2
	資料整理室 （事務室）		EV	談話・リフレッシュ コーナー		ファカルティー セミナー室

演習題目及び担当教員一覧（教員名50音順）

演習題目	職名	教員名	アドレス	内線	研究室	頁
Rを用いた作図	准教授	宇都宮　譲	yuzuru@nagasaki-u.ac.jp	300	東ア2階	1
財務会計の基礎	教授	岡田　裕正	h-okada@nagasaki-u.ac.jp	352	東ア3階	3
経済政策およびマクロ経済分析	准教授	工藤　健	tkudo@nagasaki-u.ac.jp	369	本5階	5
統計学	准教授	式見　拓仙	shikimi@nagasaki-u.ac.jp		東ア2階	8
コンピュータセキュリティ	講師	鈴木　斉	sigh@nagasaki-u.ac.jp	372	本6階	10
地域経済論	准教授	山口　純哉	junya-y@nagasaki-u.ac.jp		東ア2階	13

<注>研究室欄　本：本館　東ア：東南アジア研究所　研究室は、本冊子末尾の配置図を参照のこと。

※電話をかけるときは、各教員の内線番号の前に「095-820-6」をつける。

※携帯電話からメールを送信する場合は受信拒否設定を解除しておくこと。

教員からの返答が滞る場合は、必ず確認をとること。

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／Others 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/
時間割コード／Time schedule code	20241510000101	科目番号／Course code	15100001
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38770_398_2		
授業科目名／Course title	演習Ⅰ／Graduation Thesis I		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	宇都宮　譲／Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	宇都宮　譲／Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	宇都宮　譲／Utunomiya Yuzuru		
科目分類／Course Category	演習		
対象年次／Intended year	3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuzuru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所209室		
担当教員TEL/Tel	0958206300		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日6限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本演習は、社会現象を理解する能力を涵養することを目的とする。 社会現象を数量を用いて表現することは一般的である。しかしながら、数量で表現された社会現象から意味を見出すことは相応に困難である。困難を打開する手法として、グラフは有効である。とはいえ、グラフを描くにもやはり相応に困難である。		
授業到達目標/Course goals	DP1（課題発見力・探求力）：現代社会に内在する諸課題を発見,これを探求し,解決しようとする意欲と能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　□考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題を提出すること：100%		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前　指定箇所について、あらかじめ教科書所載コードを書いて実行すること。 事後　課題をこなして提出すること。		
キーワード/Keywords	グラフ；R言語		
教科書・教材・参考書/Materials	Winston Chang　著、石井 弓美子、河内 崇、瀬戸山 雅人訳(2019)『Rグラフィックスクックブック 第2版』オライリー・ジャパン。（isbn: 978-4-87311-892-5）		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	1.　本学が開講する「統計学I」にて単位修得済であり、かつ「統計学II」を受講中であること。 2.　本学が開講する「情報処理」にて単位修得済であり、かつMSExcelに通暁すること。 3.　教科書を購入し必携PCを毎回持参すること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考（URL）/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
イントロダクション	演習が目指すことについて説明します。必要条件や環境についても説明します。
Rの基本	Rを使うにあたって、必ずできなければならないことを説明します。
練習	前回演習に関する練習です。
データの基本的なプロット	さまざまなグラフを紹介します。また、練習に用いるデータセットを紹介します。
練習	前回演習に関する練習です。
棒グラフ	棒グラフを描きます。
練習	前回演習に関する練習です。
折れ線グラフ	折れ線グラフを描きます。
練習	前回演習に関する練習です。
散布図	散布図を描きます。
練習	前回演習に関する練習です。
データ分布の要約	ヒストグラムや密度プロットを描きます。
練習	前回演習に関する練習です。
注釈	作成したグラフに注釈をつける手順を学びます。あわせて、R環境において日本語を使う方法も学びます。
軸	軸に関するさまざまな調整を学びます。
練習	前回演習に関する練習です。
グラフの全体的な体裁	グラフタイトルやテーマを調整する方法を学びます。
練習	前回演習に関する練習です。
凡例	凡例位置や表記法を学びます。
練習	前回演習に関する練習です。
ファセット	要因毎に分割したグラフを描く方法を学びます。
練習	前回演習に関する練習です。
色を使う	カラーパレットを使う方法を学びます。
練習	前回演習に関する練習です。
様々なグラフ	塗り分け地図を描きます。
練習	前回演習に関する練習です。
出力	作成したグラフを、所定形式にて出力する方法を学びます。
練習	前回演習に関する練習です。
総括	まとめです。
総括（つづき）	まとめです。

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／Others 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/
時間割コード／Time schedule code	20241510000102	科目番号／Course code	15100001
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38770_398_2		
授業科目名／Course title	演習Ⅰ／Graduation Thesis I		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	岡田　裕正／Hiromasa Okada		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	岡田　裕正／Hiromasa Okada		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	岡田　裕正／Hiromasa Okada		
科目分類／Course Category	演習		
対象年次／Intended year	3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-okada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所3階		
担当教員TEL/Tel	内線　352		
担当教員オフィスアワー/Office hours	ゼミの前後の時間を原則とするが、具体的には、開講時に連絡する。また、上記Ｅメールでも受け付けるが、件名を必ず記載すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：財務会計 課題テーマ：財務会計の基礎 内容と方法：3年前期は入門書を用いて会計全般について広く浅く知識を習得し、後期は、財務会計の入門書を用いて、財務会計の知識の習得を目指す。 具体的な方法は、使用するテキストの各章について、毎回報告担当者が担当部分の内容を20分程度で報告し、その内容について全員で検討する。ゼミでは、毎回、報告者以外の参加者にも自分の考えや感想を述べることを求める。プレゼンやスライド作成の技術の習得の場としたい。 ゼミは2時間程度かかることもあるので、注意すること。 演習Ⅱ（選択）を希望した学生は、各自が設定したテーマに即して、卒業論文の進捗状況の報告及び作成する。 ゼミは対面を原則とするが、コロナの状況等に応じて、リアルタイムオンラインに変更することもある。		
授業到達目標/Course goals	演習Ⅰは、つぎのDPと関係する。 DP-3　自分考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4　現代社会課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ゼミの課題・テーマに対する取り組み方，主体的・積極的なゼミへの参加，報告やプレゼンテーションなどを基本として成績評価を行う。 基礎的な知識の習得、知識の定着や解決策を考える力については、夏休みの課題レポート及び最終的に提出するレポートで評価する（合計80%）。 プレゼンや討論への参加状況などについての評価（20%） これらの合計60%以上を合格とする。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	前期 【準備学習】毎回、該当する教科書や参考書の箇所を読むとともに、理解できない点を明確にし、積極的に授業で質問できるようにすること(2h)。 【復習】ゼミの内容に関する自分のノート（もしくはWordファイル）を作成し、用語のまとめや不明な点を参考書等から疑問点を無くすようにすること(2h)。 また、夏休みに課題を課すので、各自で知識の正確な理解に努めること。 後期 【準備学習】あらかじめ決定したテキストについて、前期同様、次回までに分担されたことを調べ、まとめること（2h）。 【復習】ゼミの中での討論を通じて、不明な点をさらに調べるなどすること（2h）。 3年時終了時点で、各自またはグループで作成したレポートの提出を求める。なおこのレポートは、演習Ⅱで作成する卒論の準備として利用することも可能なので、それを意識して課題に取り組むこと。
キーワード/Keywords	財務会計、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、キャッシュフロー計算書）、資産（棚卸資産、固定資産、繰延資産、金融資産）、負債（社債、引当金）、純資産（株主資本、剰余金の配当、評価換算差額等、自己株式）、費用、収益、各種の利益の意味等
教科書・教材・参考書/Materials	前期は、以下のテキストを利用する。 　　吉見宏編著『ビギナーズ会計学』中央経済社　2400円+税 後期は、以下のテキストを利用する（これは財務会計論1・2で利用したテキストである）。 　　田中建二著『財務会計入門』（第6版）中央経済社　2600円+税
受講要件（履修条件）/Prerequisites	あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：簿記および財務会計（簿記3級程度の知識を持っていること。2年次に財務会計論1・2の単位を修得していない場合は、3年次または4年次に必ず受講してもらうので、卒業要件とも関連させて注意すること）
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	ゼミは対面で実施する。現時点では、オンラインとの併用は考えていないが、変更する場合はLACS等で連絡する。 会計に関する専門知識を得ることができるサイトはいろいろとある。いかに示すものは主なものである。 財務会計基準委員会（ASBJ）：https://www.asb.or.jp/jp/ 国際会計基準審議会（IASB）：https://www.ifrs.org/ 日本公認会計士協会（JICPA）：https://jicpa.or.jp/ このほか監査法人や税理士法人のホームページも参考になるものが多いので、各自で探してもらいたい
学生へのメッセージ/Message for students	・このゼミを申し込んだ学生は、必ずメールで連絡すること。メールの件名には必ず「ゼミ面接希望、学生番号、氏名」記載すること。 ・面接にあたり、ゼミの志望動機を400字以上にまとめて必ず持参すること。 ・毎回のゼミには、十分に予習した上で積極的な態度で臨むこと。 ・資格試験対策のゼミではないので注意すること。 ・教職課程の履修者は、開講曜日に注意すること。 ・ゼミを休む場合は、事後的でもいいので、必ず連絡すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回～第15回	テキストに基づく内容の報告と討論（対面） 使用するテキストは、財務会計以外の領域を含む入門書であり、これを通じて会計の広い世界を一通り眺める
第16回～第30回	前期とは異なるテキストに基づく内容の報告と討論（対面） 財務会計論で使用したテキストを利用し、財務会計の基礎知識について学ぶ。

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／Others 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/
時間割コード／Time schedule code	20241510000103	科目番号／Course code	15100001
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38770_398_2		
授業科目名／Course title	演習Ⅰ／Graduation Thesis I		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	工藤　健／Kudo Takeshi		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	工藤　健／Kudo Takeshi		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	工藤　健／Kudo Takeshi		
科目分類／Course Category	演習		
対象年次／Intended year	3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tkudo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部（片淵キャンパス）本館5階521研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6369		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日授業終了後21:10-21:40 E-mailおよびLACS科目掲示板でも質問を適宜受付。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：経済政策およびマクロ経済分析 課題テーマ：経済政策（金融政策・財政政策と周辺分野）およびマクロ経済に関する分析 内容と方法： ・目的：経済政策の効果を理論とデータに基づき分析できるようになること。 ・専門的分析能力の修得： (1)専門書または学術論文の輪読を通じ，学術的な政策分析に関する理解を深める。 (2)データ分析演習を通じて，情報収集やデータ分析能力を身につける。 (3)個人またはグループ研究に基づきレポートを作成する。		
授業到達目標/Course goals	(1)基本的なマクロ経済分析やデータ分析の方法を身につけている。 (2)予習内容に基づいて小グループで議論を行い，考えを共有できる。 (3)経済分析に基づく研究成果をまとめて論文を執筆できる。 ※以上は次の経済学部のディプロマ・ポリシーに対応する。 （DP-3）自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 （DP-4）現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	個人またはグループ研究（論文内容，報告会プレゼン，貢献度）40%, 論文輪読・データ分析（議論・報告内容，提出物など）60%		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・事前学習：テキストや事前に配付された資料を用いて所定の様式に基づく「予習ノート」を作成する。（2時間） ・事後学習：学習の成果や課題，プロジェクトの進行状況をLACSにアップロードする。（2時間） 標準的な受講生について，講義1回あたり4時間程度の授業外学習（予習・復習など）を要する（大学設置基準第21条および長崎大学学則第33条を参照）。
キーワード/Keywords	金融政策，財政政策，マクロ経済分析，マクロ経済統計，データ分析
教科書・教材・参考書/Materials	＜研究論文の輪読＞ 主な資料として，学部中級レベルのマクロ経済学関連テキストや『経済セミナー』，Journal of Economic Literatureなどの学術雑誌の記事を扱う予定。詳細は授業開始前に指示する。 ＜データ分析演習＞ 久保克行（2021)『経営学のための統計学・データ分析』東洋経済新報社（ISBN: 978-4492503294)
受講要件（履修条件）/Prerequisites	あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：経済概論、経済学A、経済学B
アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　　（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	授業は主に対面形式で実施する（一部の事前資料はオンデマンド配信になる可能性あり）。最初の回に授業計画を説明するが，状況によって変更する場合もありうる。
学生へのメッセージ/Message for students	質問は，オフィスアワー（対面またはオンライン）や，電子メールで受け付ける。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
	ガイダンスとイントロダクション
	データ分析演習（久保(2021)第7-8章），研究テーマを考える
	図書館ガイダンス（事前資料：久保(2021)第9章）
	JMPの導入，研究テーマの検討と資料収集
	研究テーマの検討と資料収集
	個人またはグループ研究テーマ報告会
	データ分析演習（久保(2021)第2章）
	データ分析演習（久保(2021)第3章）
	データ分析演習（久保(2021)第3章）
	研究論文の輪読と討論
	データ分析演習（久保(2021)第4-5章）
	個人またはグループ研究の計画と資料収集
	研究論文の輪読と討論
	データ分析演習（久保(2021)第6章）
	個人またはグループ研究中間報告
	データ分析演習（久保(2021)第10章）
	個人またはグループ研究の資料収集
	個人またはグループ研究中間報告
	研究論文の輪読と討論
	データ分析演習（久保(2021)第11章）
	データ分析演習（久保(2021)第12章）
	個人またはグループ研究中間報告
	データ分析演習（久保(2021)第13章）
	データ分析演習（久保(2021)第13章）
	研究論文の輪読と討論
	個人またはグループ研究のプレゼンテーション準備
	個人またはグループ研究のプレゼンテーション準備

	個人またはグループ研究最終報告会
	個人またはグループ研究最終報告会
	個人またはグループ研究レポートの執筆

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／Others 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/
時間割コード／Time schedule code	20241510000104	科目番号／Course code	15100001
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38770_398_2		
授業科目名／Course title	演習Ⅰ／Graduation Thesis Ⅰ		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	式見　拓仙／Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	式見　拓仙／Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	式見　拓仙／Shikimi Takuhisa		
科目分類／Course Category	演習		
対象年次／Intended year	3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shikimi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階214番研究室		
担当教員TEL/Tel	shikimi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	演習終了後1時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：統計学 課題テーマ：確率論・統計的推測の基礎を習得することを目的とします。また、それらの習得を通じて、わからな いことを一つ一つ克服していく力を身につけます。 内容と方法：統計学の入門・中級レベルのテキストを輪読します。毎回、発表者がテキストの指定範囲を説明し、 それをもとに参加者が議論します。また，テキストの練習問題に取り組むこともあります。 なお，ゼミは対面式で実施する。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HP の「受講の手引き（学部）」にある「カリキュラム・マップ」を見てください. 専門ゼミは次のDPを授業到達目標としています. DP3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる. DP4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	十分に発表の準備をしているかどうか，発表の態度，理解の程度，出席率をもとに判定します。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：ゼミ参加者は指定された学習範囲を学習し，理解しておく．さらに不明な点を明確にしておく（２ｈ）. 復習：理解の定着を図るために，該当範囲の練習問題を解く（２ｈ）.		
キーワード/Keywords	確率，確率変数、確率分布、期待値、標準偏差、2変数確率分布、標本分布，相関，回帰，推定、検定		

教科書・教材・参考書/Materials	宮川公男『基本統計学（第5版）』有斐閣 この本は「統計学I」「統計学II」の授業で採用した教科書と同じであるが，時間の都合上または少し高度であるため授業で講義できなかった内容も多い．それらを含めて最初から丁寧に教科書を読み進める予定である．章末の練習問題も解いてもらう．数学の予備知識としては，数列の収束，指数関数，微分，べき級数展開，（広義）積分を必要とする．
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受け入れコース：全てのコース あらかじめ履修しておかなければならない科目や受講前の準備：「統計学I」「統計学II」「経済数学入門」の単位を取得しておくこと． 国際ビジネスプログラム受け入れ：否 早期卒業受け入れ：可
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	対面で実施する．
学生へのメッセージ/Message for students	わからない点があっても，粘り強く考え続けてください．
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
1ー30回	発表とディスカッション なおゼミは全て対面で実施する．

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／Others 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/
時間割コード／Time schedule code	20241510000105	科目番号／Course code	15100001
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38770_398_2		
授業科目名／Course title	演習Ⅰ／Graduation Thesis I		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	鈴木　斉／SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	鈴木　斉／SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	鈴木　斉／SUZUKI Hitoshi		
科目分類／Course Category	演習		
対象年次／Intended year	3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sigh@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階631鈴木研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6372		
担当教員オフィスアワー/Office hours	原則として講義終了後に受け付けています。別の時間帯を希望される場合やEメールで対応可能なものについては sigh@nagasaki-u.ac.jp にてご相談願います。Eメールや電話以外の連絡手段については開講時に連絡します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「実践的エコノミスト」の養成に照らして設定する課題・テーマや指導方針に基づき、学生が主体的な学習を行う演習科目であり、１年間を通して一人の教員の指導のもとに履修する必修科目となります。各ゼミは13名から15名の少人数で構成されるため、履修希望者が多い場合は教員と履修希望者との面接等を実施し選抜を行います。演習Ⅰの単位修得後に希望する人は同一教員の指導のもとに演習Ⅱを履修することが可能となります。 演習題目: コンピュータセキュリティ 課題テーマ: コンピュータネットワークを利用する際に必要となるセキュリティに対する基本的な考え方について学習します。 内容と方法: 演習で扱う内容としては、プレゼンテーションの練習、コンピュータの動作原理の理解、プログラミングの考え方の理解、プログラミング実習、ハードウェア制御の理解と実習、実社会におけるセキュリティの考え方の理解、コンピュータネットワーク上でのセキュリティの考え方の理解についてを、それぞれ2～6回の講義時間を一つのユニットとしてグループワーク形式で討論や成果物の作成を行ってもらいます。ユニットにおける講義回数は、それぞれ (3,5,5,6,6,3,2) 回となります。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。 演習Ⅰは次のDPを授業到達目標としています。 　DP-3: 自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。 　DP-4: 現代社会の課題に対して、幅広く深い教養、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。 具体的には、コンピュータの基本的な動作原理やコンピュータネットワークの仕組みについて自分の言葉で説明し、その問題点について指摘や、その改善方法について討論することができるようになることを授業到達目標としています。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　□国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義時間2～6回を1つのユニットとしてグループワークを行ってもらいます。ユニットにおける講義回数は、それぞれ（3,5,5,6,6,3,2）回となります。 それらの課題への取り組み方: 30%、主体的・積極的な演習への参加態度: 40%、報告やプレゼンテーション: 30%をもとに100点満点に換算し、60点以上を合格とします。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	各ユニットの初回講義日に、ユニット内の最終となる講義日に発表を行ってもらう内容と、理解や作業に有用な参考資料、目安となる作業時間等を提示します。成果物作成には講義時間以外にもグループでの作業が必要となります。 それぞれの講義時間内で進捗報告等を行う時間を設けているため、 　予習内容としては、グループワークを円滑に進めるための準備 　復習内容としては、講義時間内に得られた知見を最終報告に向けての反映 として、1週あたり平均して予習・復習にそれぞれ2時間を想定しています。
キーワード/Keywords	プログラミングの考え方 実社会におけるセキュリティの考え方 コンピュータネットワーク上でのセキュリティの考え方
教科書・教材・参考書/Materials	テキストは演習参加者と相談の上で決定します。演習導入時点でのテキスト候補としては、 梅津　信幸「あなたはコンピュータを理解していますか？」ソフトバンク クリエイティブとなります。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	演習Ｉを履修するためには、次に掲げる単位数を修得している必要があります。 ●令和3年度以降入学者 　(1) 教養教育科目の修得単位数が20単位以上（外国語科目4単位以上を含む） 　(2) 専門教育科目の修得単位数が20単位以上 ●平成24年度～令和2年度入学者 　(1) 教養教育科目の修得単位数が26単位以上（外国語科目4単位以上を含む） 　(2) 専門教育科目の修得単位数が14単位以上
アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	授業は教室での対面形式を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン形式に変更される場合があります。 https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	・コンピュータを扱う技能を習熟している必要はありませんが、使用に抵抗感を持たないこと、通常以上の努力・精進ができることは要求します。 質問等はメール、または、経済学部本館6F 631鈴木研究室にて直接問い合わせてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
ユニット1	自己紹介とプレゼンテーションの練習
ユニット2	コンピュータの動作原理の理解
ユニット3	プログラミングの考え方の理解
ユニット4	プログラミング実習

ユニット5	ハードウェア制御の理解と実習
ユニット6	実社会におけるセキュリティの考え方の理解
ユニット7	コンピュータネットワーク上でのセキュリティの考え方の理解

学期／Semester	2024年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／Others 0
開講期間／Course duration	2024/04/01～2025/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0/4.0/
時間割コード／Time schedule code	20241510000106	科目番号／Course code	15100001
科目ナンバリングコード／Numbering code	ECET 38770_398_2		
授業科目名／Course title	演習Ⅰ／Graduation Thesis I		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	山口　純哉／Yamaguchi Junya		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	山口　純哉／Yamaguchi Junya		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	山口　純哉／Yamaguchi Junya		
科目分類／Course Category	演習		
対象年次／Intended year	3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room			
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年次以上で経済学部で定める必要単位数を修得した学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	junya-y@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所２階２１５号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に連絡する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	演習題目：地域経済論 テーマ：地域社会の持続可能性 内容：地域社会の持続性に資するソーシャルビジネスや地域政策の現状や課題について、輪読、資料調査等、受講生が主体となる方法を中心にして学びを深める。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き（学部）」にあるカリキュラム・マップ」を見てください。 演習Ⅰは次のDPを授業到達目標としています。 DP-3：自分の考えについて，わかりやすく伝え，討論することができる。 DP-4：現代社会の課題に対して，幅広く深い教養，専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して，現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　■主体性／Autonomy　■協働性／Cooperativeness　□考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度（50%）、最終プレゼンテーション(50%)の合計によって評価し、60%を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	（事前）輪読の文献をはじめとする多様な資料の渉猟、整理（2h） （事後）講義時のディスカッション等を振り返り自身の知識や思考を整理（2h）		
キーワード/Keywords	地域経済、地域社会、持続可能性、ソーシャルビジネス、地域政策		
教科書・教材・参考書/Materials	地域経済や地域社会にかかる文献を開講時に紹介する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	・地域社会の持続を脅かす社会問題について、メディア等の報道に注意を払うこと。 ・講義の準備や振り返りに長時間を要するため、十分な時間を演習Ⅰに使えない学生は履修をさけること。		

アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2999 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	授業は対面形式と必要に応じてオンライン形式のハイブリッド型で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。
学生へのメッセージ/Message for students	地域経済・社会について、時間をかけて本気で考えてみたい学生の受講を希望する。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	N
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
全回	研究報告とディスカッション